

(様式1)

令和4年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 038	提案機関名 県央家畜保健衛生所
要望問題名 経膈採卵 (OPU) の野外実施実用化に関する検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模 (面積、数量等) 】 現在、当県においては、OPU を希望する生産者が、畜産技術センターあるいは家畜保健衛生所に牛を搬入し、採卵作業を実施している。 家畜防疫の観点や生産者の負担軽減、胚の生産効率を高めるためには、現地における採卵作業について検討をする必要があると考えられる。 そこで、現地での採卵実用化に伴い、必要とされる条件や、現在の体制に対する費用対効果などについて、検証をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部企画研究課大家畜グループ
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 新技術 (OPU) を用いた効率的な後継牛確保対策 (H27～R6)		
対応の内容等	本県ではかながわ酪農活性化対策事業で、県内酪農家の優良牛を対象に OPU による後継牛の生産の実証試験に取り組んでいます。現在のところ、安全な卵子採取や卵子の品質保持のために農場内での OPU は実施していませんが、令和2年度から OPU の現地実施を視野に入れて採取された卵子の輸送方法について試験を実施しています。この試験結果をもとに現地での OPU の実施の可能性について検討します。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			